すこやかに とばっこげんきっこ vol.73

AK　絵

市民の森公園でくじゃくの赤ちゃんが誕生しました。すくすくと育つことを願って、市民のみなさんもぜひ優しく見守ってあげてください。

海の博物館がお届けする

とばを育む海の森ガイド

vol.7

ミルは古代から人気の海藻

海松文様

磯の岩場に生えるミル

ミルを使った海藻おしば作品

茹であげたミル

「海松」、「水松」と漢字で書くミルは、鳥羽の海辺で8月から10月ごろにかけてとれる海藻です。体は、柔らかく円柱状で深緑色、根元から規則正しく叉状に枝分かれして、全体は扇形になっています。

市内では、ミルをお盆のお供え物にする地区があり、志摩市では酢のもので食べる地区もあります。伊勢神宮の「神嘗祭」などの祭りには、ミルは神饌として供えられ、平城宮出土の木簡（710～780年ごろ）、「万葉集」（759年）、「倭名類聚抄」（935年）などにも「海松」の文字がみえます。

この他に、ミルの形状から生まれ「海松文様」などの文様、その深緑色に因んだ「海松色」などの色は、日本の伝統として古代から現在に伝わっています。

海の博物館で行っている「海藻おしば」体験では、フェルトのような手触りのミルが子どもたちにとても人気で、好んで使ってもらっています。

編集後記 広報マン

海女、可憐だー

寺本　沖縄在住の水中カメラマン・古谷千佳子さんの記者発表が海の博物館であったよ。

松川　来年のカレンダーの制作発表ですね。

寺本　鳥羽市と志摩市の海女さんの写真だけで構成されてて、すごくいいカレンダーやったから一冊買ってきたよ。

松川　どれもいい写真ですね。有名な写真家の作品ですから鳥羽の海女さんにとってもいい記念になりますね。

寺本　浜崎君は答志出身やろ。お母さんが載ってたりして。

浜崎　あっ！これは・・・。

松川　載ってるんですか⁉

浜崎　いや、ウェットスーツが母親のと似てるなと思って。

寺本　それはそうやろ。

編集と発行
総務課広報情報係
〒517-0011　鳥羽市鳥羽三丁目1-1　☎0599-25-1114
ホームページ http://www.city.toba.mie.jp/
Eメール koho@city.toba.mie.jp

資源保護のために再生紙を使用しています。